

7. 目標達成のための施策・事業

7.1. 施策体系の整理

目標達成のために、考えられる地域公共交通の活性化及び再生のための事業メニューを抽出し、次のように体系的に整理する。

基本的な方針

- | | | |
|--|---|--|
| <p>(1) 地域が目指すべき将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域交通拠点を通じての人の交流 ○世界遺産やジオパーク、国立公園等による観光での集客 ○人、モノ、情報の多様な交流の拡大 | <p>(2) 公共交通が果たすべき役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生、高齢者等の広域的な移動手段の確保 ○観光客等の来訪者の広域的な移動の利便性や回遊性の向上 ○安全・安心な運送サービスを提供できる健全な事業体制の確保 ○快適な乗換拠点の整備、ダイヤの連携、乗継運賃の設定等 | <p>(3) 公共交通の活性化及び再生に向けた取組みの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光振興・観光需要に対応した持続可能な地域公共交通の確保・維持 ○地域住民の広域的な移動・広域的な周遊観光に対応した公共交通網への再編 ○事業者の事業資源を有効活用した合理的・効率的な公共交通 ○老朽化した事業資源の合理的な更新 ○公共交通の事業主体を確保・維持するための事業者の経営構造の見直し |
|--|---|--|

目標(1)

広域的な周遊観光や地域住民の移動の足を担う公共交通網への再編と利便性向上

目標(2)

持続可能で安全・安心な運送サービスに向けた設備・体制の整備

事業(1)ー① 主要な交通結節点と周遊観光の拠点機能の一体化

事業(1)ー② 島原半島西岸を經由する広域的なバス路線における昼間・日祝日の周遊観光を念頭に置いた路線再編【**地域公共交通再編事業**】

事業(1)ー③ 広域的な路線バスに係る昼間・日祝日のパターンダイヤの構築と周遊拠点におけるマルチモーダルの結節【**地域公共交通再編事業**】

事業(1)ー④ 島原半島東岸を經由する広域的な鉄道線・バス路線における昼間・日祝日の鉄道の速達性を向上と路線バスとの緩急接続【**地域公共交通再編事業**】

事業(1)ー⑤ キリスト教世界遺産候補関係施設へのアクセス手段の構築と公共交通との結節

事業(1)ー⑥ 観光列車、ラッピングバスの運行等の地域と連携したイベント

事業(1)ー⑦ 共通乗車船券・周遊券・乗継割引運賃の導入【**地域公共交通再編事業**】

事業(1)ー⑧ 乗継・時刻表等についてのホームページの作成・改良【**地域公共交通再編事業**】

事業(1)ー⑨ 周遊拠点における周辺観光地や市内の公共交通との結節

事業(1)ー⑩ 案内表示や案内放送の多言語化

事業(2)ー① 島原鉄道線の老朽施設の更新

事業(2)ー② 島鉄バスの老朽化したバス車両の更新

事業(2)ー③ 島原鉄道に係る鉄道事業再構築事業の検討

7.2 施策・事業内容

7.1 で体系化づけて整理した事業内容を以下に詳述する。

なお、実施時期については、短期（1～2年）、中期（3～5年）と設定する。

【目標1】 広域的な周遊観光や地域住民の移動の足を担う公共交通網への再編と利便性向上

施策・事業名	事業（1）－① 主要な交通結節点と周遊観光の拠点機能の一体化		
実施の目的	公共交通機関で到着した観光客に周辺の観光情報等を円滑・効果的に提供し、出発前や乗継の待ち時間を有意義に楽しく過ごすことにより観光消費の喚起につなげることで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	周遊観光の拠点箇所において、主要な交通結節点と地域の観光総合窓口機能を一体化させることを目指す。諫早駅は、長崎県南地域の玄関口として交通結節機能と観光窓口機能の強化を図る。また、その他の主要駅・バスターミナル・フェリーターミナルにおいて、公共交通に係る待合施設・情報提供案内板等を整備し乗継の利便性を向上させると共に、観光案内所・イベントスペース・土産売場等を合わせ整備する。		
主な事業エリア	諫早駅、小浜 BT、雲仙 BT、口之津 FT、島原駅・島原港等		
実施主体	各市、交通事業者、施設所有者	実施時期	中期

施策・事業名	事業（1）－② 島原半島西岸を経由する広域的なバス路線における昼間・日祝日の周遊観光を念頭に置いた路線再編【地域公共交通再編事業】		
実施の目的	地元利用者の利用の実態に応じつつ周遊観光に係る利便性の向上に資するよう運行を効果的・合理的なものとするすることで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	島原半島西岸を経由する広域的なバス路線について、小浜温泉・雲仙温泉が周遊観光の主要な拠点・目的地となっていることを踏まえ、地元利用の少ない昼間・日祝日は諫早～小浜～雲仙間を幹線系統、小浜～口之津・有家間をフィーダー系統に再編し、小浜 BT で結節することで、運行系統の長距離にわたる重複を解消する。交通事業者の負荷を軽減して、持続可能性を高め、県南地域全体の公共交通の利便性向上に取り組んでいける状況を生み出す。また、当該幹線系統を諫早から長崎空港に延長することについて検討する。		
主な事業エリア	諫早有家線、諫早口之津線の沿線エリア等		
実施主体	交通事業者	実施時期	短期

施策・事業名	事業（１）－③ 広域的な路線バスに係る昼間・日祝日のパターンダイヤの構築と周遊拠点におけるマルチモーダルの結節【地域公共交通再編事業】		
実施の目的	県南地域全体の公共交通のネットワーク性が向上して周遊観光の予定が立てやすくなることで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	広域的な路線バスについて、昼間・日祝日にパターンダイヤを構築し周遊拠点たる交通結節点で相互に結節し、鉄道・船舶等とも結節する。主要な路線バスの運行頻度を少なくとも１時間等間隔とする。併せて、周遊拠点たる交通結節点において、適切な接続時間で路線バス・鉄道・船舶等を相互に結節させる。鉄道で移動→ある周遊拠点とその周辺で３時間観光→路線バスで移動→ある観光地で２時間観光→路線バスで移動→ある周遊拠点で宿泊、というような周遊観光の予定が立てられるようなダイヤを構成する。		
主な事業エリア	広域的なバス路線の沿線エリア		
実施主体	交通事業者	実施時期	短期

施策・事業名	事業（１）－④ 島原半島東岸を經由する広域的な鉄道線・バス路線における昼間・日祝日の鉄道の速達性を向上と路線バスとの緩急接続【地域公共交通再編事業】		
実施の目的	鉄道と路線バスを総合的に組み合わせて観光客と地元利用者の各々の利便性・効率性を両立・向上させることで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	島原半島東岸を經由する広域的な鉄道線・バス路線について、昼間・日祝日の鉄道の速達性を向上し、路線バスとの緩急接続により公共交通の利用機会を確保・増加させる。殆どの区間で運行ルートが重複している島原鉄道株式会社の鉄道線と路線バスの諫早多比良島原線で、速達性や長距離輸送に優れた鉄道の特性ときめ細かな停留所設定が可能な路線バスの特性を活かして組み合わせて、鉄道線の急行列車を増発・パターンダイヤ（※１）化し、各停列車の代わりに路線バスを愛野駅等で緩急接続（※２）させる運行形態とすることや運賃を鉄道・路線バスで通算すること等を検討する。		
主な事業エリア	島原鉄道沿線エリア		
実施主体	交通事業者	実施時期	短期

（※１）パターンダイヤ：鉄道やバスなどの公共交通機関が、一定の間隔で周期的に運行されることをいう。利用者にとって記憶しやすいダイヤとすることで、利便性の向上などの効果を期待できる。

（※２）緩急接続：速度の遅いバス（緩）と速い鉄道（急）を「接続」させることをいう。路線バスしかないバス停でも接続駅から速達列車を利用しやすくなり、路線全体の利便性の向上が期待できる。

施策・事業名	事業（１）－⑤ キリスト教世界遺産候補関係施設へのアクセス手段の構築と公共交通との結節		
実施の目的	キリスト教世界遺産候補関係施設への観光客を公共交通に取り込むことで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	キリスト教世界遺産候補関係施設（原城跡・日野江城跡・有馬キリシタン遺産記念館）への周遊バス等のアクセス手段を構築し、近傍の広域的なバス路線の停留所を乗継拠点として整備する等して、両者を結節させる。		
主な事業エリア	南島原市（世界遺産候補構成要素周辺）等		
実施主体	交通事業者、（各市）	実施時期	中期

施策・事業名	事業（１）－⑥ 観光列車、ラッピングバスの運行等の地域と連携したイベント		
実施の目的	鉄道やバスに乗ること自体を楽しむことで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	「幸せの黄色い列車王国」プロジェクト等の広域的な観光振興の取組みと連携して、1号機関車をイメージした観光列車、しまばら守護神「しまばらん」等のキャラクターをラッピングしたバス車両の運行等のイベント等を企画する。		
主な事業エリア	島原鉄道沿線エリア		
実施主体	交通事業者、各市	実施時期	中期

施策・事業名	事業（１）－⑦ 共通乗車船券・周遊券・乗継割引運賃の導入【地域公共交通再編事業】		
実施の目的	周遊観光等に伴う複数モード間の乗継での運賃の收受や分かりにくさを解消・軽減することで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	既に発売されている各種の共通乗車船券等を周知し販売促進を図っていくほか、キリスト教世界遺産の登録を見据えて、同じくキリスト教世界遺産候補を有する天草と県南地域で周遊できる共通乗車船券等を検討する。		
主な事業エリア	長崎県南地域全域		
実施主体	交通・鉄道・船舶事業者	実施時期	中期

施策・事業名	事業（１）－⑧ 乗継・時刻表等についてのホームページの作成・改良【地域公共交通再編事業】		
実施の目的	個人旅行客がインターネットを活用して予定を立てやすくなることで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	時刻表が掲載されているホームページを、周遊観光の拠点における交通結節点でどのように乗り継げるのか容易に検索できるように改良する。その他、乗継利便の向上や利用促進につながる情報サービスの提供を実施する。		
主な事業エリア	長崎県南地域全域		
実施主体	交通事業者、サービス提供者	実施時期	短期

施策・事業名	事業（１）－⑨ 周遊拠点における周辺観光地や市内の公共交通との結節		
実施の目的	広域的な公共交通と局地的な公共交通その他の移動手段をネットワーク化することで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	周遊拠点たる交通結節点で、広域的な公共交通と周辺観光地への周遊バス、観光タクシー、着地型旅行商品等との円滑な接続（相互のダイヤ調整、適切な乗継時間の設定や待合環境の整備等の乗継円滑化等）を図る。また、局地的な公共交通（市内路線バス、デマンド交通、タクシー等）とも結節・整合を図る。		
主な事業エリア	長崎県南地域の乗継拠点		
実施主体	交通・鉄道・船舶事業者、観光事業者	実施時期	短期

施策・事業名	事業（１）－⑩ 案内表示や案内放送の多言語化		
実施の目的	住民のみならず、国内外の観光客にも分かりやすい交通情報を提供することで、広域的な周遊観光等を担う公共交通網への再編と利便性向上に資する。		
事業概要	乗継ぎ情報や観光情報等の付加も考慮した案内表示・案内放送・ホームページを整備するとともに、増加している外国人観光客等に対応した多言語表記にする。また、路線バス、鉄道、航路、航空路といった異なる交通モードの情報が一覧で見ることのできる総合時刻表（多言語対応）の作成を行う。		
主な事業エリア	長崎県南地域全域		
実施主体	長崎県、各市、交通事業者	実施時期	短期

【目標 2】 持続可能で安全・安心な運送サービスに向けた設備・体制の整備

施策・事業名	事業（2）－①島原鉄道線の老朽施設の更新		
実施の目的	鉄道施設の安全性を向上することで、持続可能で安全・安心な運送サービスに向けた設備・体制の整備に資する。		
事業概要	島原鉄道線における設備等の老朽化が進んでおり、鉄道軌道を構成する橋梁・枕木・踏切保安設備等の老朽施設の改善を、国庫補助等を活用しつつ、計画的に実施する。		
主な事業エリア	島原鉄道沿線エリア		
実施主体	島原鉄道(株)、国、長崎県、諫早市、雲仙市、島原市	実施時期	中長期

施策・事業名	事業（2）－②島鉄バスの老朽化したバス車両の更新		
実施の目的	バス車両の経年による陳腐化への対応や燃費改善、バリアフリー化等を進めることで、持続可能で安全・安心な運送サービスに向けた設備・体制の整備に資する。		
事業概要	島鉄バスにおけるバス車両の老朽化が進んでおり、国庫補助等を活用しつつ、計画的に更新する。その際、バリアフリー化や燃費改善等の環境対策にも配慮し、また、利用の実態に応じて車両の小型化等も行う。		
主な事業エリア	長崎県南地域全域		
実施主体	島原鉄道(株)	実施時期	中期

施策・事業名	事業（2）－③島原鉄道に係る鉄道事業再構築事業の検討		
実施の目的	交通事業者の経営構造を持続可能なものとする中で、持続可能で安全・安心な運送サービスに向けた設備・体制の整備に資する。		
事業概要	これまでの島原鉄道株式会社に対する関係自治体間による支援の拡充等の経緯を踏まえつつ、同社の経営構造の分析や今後のあり方、鉄道事業再構築事業の可能性について、検討を進める。		
主な事業エリア	島原鉄道線全線		
実施主体	島原鉄道(株)、長崎県、諫早市、雲仙市、島原市		
実施時期	平成 28 年度から実施主体間の協議を進め、事業の可能性を検討する。		

7.3. 事業の一覧表

目標	実施事業		実施主体	実施時期	再編事業
	事業パッケージ	個別事業 ※[]は地域公共交通再編事業として展開予定			
(1) 広域的な周遊観光や地域住民の移動の足を担う公共交通網への再編と利便性向上	乗継拠点と観光拠点の一体化	①主要な交通結節点と周遊観光の拠点機能の一体化	各市、交通事業者、施設所有者	中期	
	運行水準・運行区間の適正化・効率化	②島原半島西岸を経由する広域的なバス路線における昼間・日祝日の周遊観光を念頭に置いた路線再編【地域公共交通再編事業】	交通事業者	短期	●
		③広域的な路線バスに係る昼間・日祝日のパターンダイヤの構築と周遊拠点におけるマルチモーダルの結節【地域公共交通再編事業】	交通事業者	短期	●
		④島原半島東岸を経由する広域的な鉄道線・バス路線における昼間・日祝日の鉄道の速達性を向上と路線バスとの緩急接続【地域公共交通再編事業】	交通事業者	短期	●
	観光振興に寄与する公共交通サービスの展開	⑤キリスト教世界遺産候補関係施設へのアクセス手段の構築と公共交通との結節	交通事業者、(各市)	短期	
		⑥観光列車、ラッピングバスの運行等の地域と連携したイベント	交通事業者、各市	中期	
		⑦共通乗車船券・周遊券・乗継割引運賃の導入【地域公共交通再編事業】	交通・鉄道・船舶事業者	短期	●
	利用促進につながる分かりやすい情報提供と乗継ぎ円滑化	⑧乗継・時刻表等についてのホームページの作成・改良【地域公共交通再編事業】	交通事業者、各市	短期	●
		⑨周遊拠点における周辺観光地や市内の公共交通との結節	交通・鉄道・船舶事業者	短期	
		⑩案内表示や案内放送の多言語化	交通事業者、サービス提供者	短期	
(2) 持続可能で安全・安心な運送サービスに向けた設備・体制の整備	島原鉄道㈱の設備・車両の適切な更新	①島原鉄道線の老朽施設の更新	島原鉄道㈱、国、長崎県、諫早市、雲仙市、島原市	中長期	
		②島鉄バスの老朽化したバス車両の更新	島原鉄道㈱	短中期	
	島原鉄道㈱の経営改善	③島原鉄道に係る鉄道事業再構築事業の検討	島原鉄道㈱、長崎県、諫早市、雲仙市、島原市	中長期	

7.4. 事業スケジュール（まとめ）

本計画は7年間の期間を設定し、以下のスケジュールで各目標の達成に向けて取り組んでいく。なお、本地域の社会情勢、経済情勢、及び国の制度改正等も勘案し、毎年度の目標達成状況や持続可能性指標の達成状況を踏まえながら、適宜計画の見直しを図っていく。

目標	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標1 広域的な周遊観光や地域住民の移動の足を担う公共交通網への再編と利便性向上							
事業(1)-①主要な交通結節点と周遊観光の拠点機能の一体化	計画 ■ ■ ■	■ ▶	実施	▶	▶	▶	▶
事業(1)-②島原半島西岸を經由する広域的なバス路線における昼間・日祝日の周遊観光を念頭に置いた路線再編	計画 ■ ■ ▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
事業(1)-③広域的な路線バスに係る昼間・日祝日のパターンダイヤの構築と周遊拠点におけるマルチモーダルの結節	計画 ■ ■ ▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
事業(1)-④島原半島東岸を經由する広域的な鉄道線・バス路線における昼間・日祝日の鉄道の速達性を向上と路線バスとの緩急接続	計画 ■ ■ ▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
事業(1)-⑤キリスト教世界遺産候補関係施設へのアクセス手段の構築と公共交通との結節	計画 ■ ■ ■	■ ▶	実施	▶	▶	▶	▶
事業(1)-⑥観光列車、ラッピングバスの運行等の地域と連携したイベント	計画 ■ ■ ■	■ ▶	実施	▶	▶	▶	▶
事業(1)-⑦共通乗車船券・周遊券・乗継割引運賃の導入	計画 ■ ■ ■	■ ▶	実施	▶	▶	▶	▶
事業(1)-⑧乗継・時刻表等についてのホームページの作成・改良	計画 ■ ■ ▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
事業(1)-⑨周遊拠点における周辺観光地や市内の公共交通との結節	計画 ■ ■ ▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
事業(1)-⑩案内表示や案内放送の多言語化	計画 ■ ■ ▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶

目標	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
目標 2 持続可能で安全・安心な運送サービスに向けた設備・体制の整備							
事業(2)-①島原鉄道線の老朽施設の更新	継続実施						
事業(2)-②島鉄バスの老朽化したバス車両の更新	計画	実施					
事業(2)-③島原鉄道に係る鉄道事業再構築事業の検討	検討開始						